

西之表市農地利用最適化推進委員の応募状況

農業委員会等に関する法律第19条第2項及び同法施行規則第12条第2項の規定に基づき、推薦を受けた者及び募集に応募した者を公表します。（募集期間終了後の公表）

【総括】

区 分	人 数	うち認定農業者等
農業者等（個人）が推薦した者	0人	0人
農業者等（法人又は団体）が推薦した者	4人	2人
自ら応募した者	9人	2人
合 計	13人	

※農業者等（法人又は団体）が推薦した者と自ら応募した者との重複あり

【推薦・応募の状況】

(1) 農業者等（個人）が推薦した者

推薦を受けた者						推薦をした者				
番号	氏 名	性 別	年 齢	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	認定農業者の状況	氏 名	住 所	職 業	推 薦 理 由
	応募なし									

(2) 農業者等（法人又は団体）が推薦した者

推薦を受けた者							推薦をした者				
番号	氏 名	性 別	年 齢	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	認定農業者の状況	名 称	代表者等の氏名	目 的	①構成員の数 ②構成員資格	推 薦 理 由
推薦1	高尾野 智浩	男	65	平成13年4月～ 古田校区 評議員 令和3年4月～ 古田校区 代理 令和7年4月～ 古田校区 監事 農地利用最適化推進委員 土地改良区 理事 共済組合 理事	園芸作物	未	古田校区（古田区会）	古田区会 会長 窪田 良二	区民の親睦と福祉向上を図ることを目的とする。	①347人 ②古田校区内に住所を有する人	若い頃より、農業に従事しており、古田地区内の土地についても非常に詳しい。遊休農地解消の取り組みにも率先して取り組んでおり、担い手農家としても活躍している。土地改良については、責任を持って取り組んでおり、特に田浦については、維持管理組合を結成し、保全に努めている。今後、地域計画を作り上げていくうえで、必要な人材である。
				平成17年8月～平成21年7月 土地改良区理事（1期） 平成21年8月～令和7年4月 土地改良区筆頭理事（4期） 令和7年5月～ 土地改良区副理事長（1期目） 平成29年7月～ 農地利用最適化推進委員（2期目）	主食用米 250a ブロッコリー 100a 牧草 50a 青果用甘藷 10a 馬鈴薯 30a		西之表市土地改良区	理事長 春山 和敏	農業生産性の向上と農村地域の健全な発展を目的として、農地の整備や農業用水路などの施設の維持管理を行う組織。	①1737人 ②当改良区地区内における土地改良法第5条資格者	古田校区を中心に稲作作業受託を多く行っており、農地や農家のことを熟知しているため推薦する。

推薦を受けた者							推薦をした者				
番号	氏名	性別	年齢	経歴	農業経営の状況	認定農業者の状況	氏名	住所	職業	推薦理由	
推薦2	平園和久	男	60	昭和55年3月 現和中卒業 平成22年4月～平成23年3月 西俣組合長 平成23年4月～現在 西俣農地水(代表) 令和7年～現在 西之表市認定農業者連絡協議会(副会長) 令和7年～現在 西之表市和牛振興会(監事)	営農類型 米複合型 主な作物 水稲 700a WCS 800a さとうきび 530a 牧草 300a 生産牛 20頭	認	現和校区	区長 園田 望		①- ②現和校区に住所を有する者	農業に関する知識の高さと大規模な経営をしていること。多方面において、田畑の場所を把握していること。
推薦3	横山武志	男	61	昭和59年3月 県立浜松工業高等学校電気科卒業 平成17年3月 就農	-	未	中割校区	区長代理 池田 昭世		①59人 ②中割校区内に住所を有する者。	農業の経験があり、農家や農地のことを把握しているため、推薦します。
推薦4	遠藤芳和	男	68	昭和51年3月 県立種子島実業高校電気科 卒業 平成25年～現在 就農 現在 農地利用最適化推進委員(2期目) 現在 行政連絡員(形之山)	サトウキビ 500a	認	住吉校区	区長 鮫島 斉		①700人 ②住吉校区に住所を有する者	地域で長年就農しており、農業に対する思いは強い。 市行政連絡員を務めるなど、地域の実情や人材もよく理解しており、農地利用最適化推進委員として、適任と考える。

(3) 自ら応募した者

番号	氏名	性別	年齢	経歴	農業経営の状況	認定農業者の状況	応募の理由
応募1	鮫島俊彦	男	68	市・地籍調査係	H16災害まで 水稲 H19までキビ、イモ	未	実体験があるので現地を知っている
応募2	樗木容一郎	男	82	平成29年～ 推進委員(2期目)	家庭菜園	未	長年経験して何か、西之表市、地区、校区に対して出来る事はないか。
応募3	桑山清一郎	男	72	町内会会長・副会長・監事 地域資源保全会監事(現在継続中) 民生委員・児童委員(現在継続中) 農林業サセス経営体調査員 国勢調査員 農地利用最適化推進委員(2期目)	約100a 貸し出し(西之表精脱) 5a 自家園芸	未	6年間遊休農地の解消に微力ながら、努めてきたので体力・知力を維持しつつ引き続き頑張りたいと思います。
応募4	日笠山隆	男	62	農業委員(4期)から推進委員になり1期目	米 290a キビ 200a 焼酎、デンブン芋 150a パレイシヨ 20a	未	自分の圃場以外の田畑を見るのは、勉強になるし、楽しいから。
応募5	日高充志	男	55	JA旧澱粉工場、茶工場等 農地利用最適化推進委員(1期目)	澱イモ、ジャガイモ、豆、米	未	継続 勉強させてもらいたいと思います。

番号	氏名	性別	年齢	経歴	農業経営の状況	認定農業者の状況	応募の理由
応募6	小山田 春文	男	58	昭和61年3月 鹿児島県種子島実業 高校卒業 昭和61年4月 鹿児島県立農業大学 校入学 昭和63年3月 // 卒業 昭和63年4月 社) 日本枝肉格付協 会入社 平成4年3月 // 退社 平成4年4月 農業を父のもとで始 める。 農地利用最適化推進委員 (2期目)	サトウキビ 3500a 米 450a WCS 100a デンブンイモ 50a 生産牛 30頭	認	いままで推進委員として活動してきた経験、知識を活用して、担い手への農地集積、集約化、遊休農地の解消、新規参入促進を行いたい。常に中立の立場で活動していきたい。
応募7	山口 敏	男	62	昭和57年 種子島実業高等学校 卒業 昭和57年～平成6年 (株) 東芝 勤務 平成6年～平成16年 JA西之表市 勤務 平成16年～現在 自営業 (農業) 従事 平成17年4月～現在 市水道検針・ 収納業務 農地利用最適化推進委員 (1期目)	サトウキビ 40a 青果芋 40a～50a 澱粉芋 40a～50a 青果バレイ 40a 採種バレイ 15a～20a 米 25a	認	近年、農業従事者が亡くなったり、体調不良等で農業ができなくなり遊休農地がかなり増えており、これ以上遊休地が増えないこと、並びに少しでも解消できる様に手助けをしたいと思い応募しました。
応募8	高尾野 智浩	男	65	農地利用最適化推進委員 (2期目)	田→ 250a 耕作 畑→ 100a 耕作	未	校区内の耕作状況を多分に把握できている 土地改良の理事をしており、ある程度の地形を把握できているので。
応募9	鎌倉 隆幸	男	69	昭和58年4月～現在 就農 令和3年4月～現在 伊関校区区長 令和5年7月～現在 農地利用最適化 推進委員	パッションフルーツ 0.7 a	未	行政連絡員や (現在) 校区長としての経験を活かし、農地利用最適化推進委員を継続して、農地の最適化に努めいきたい。